

令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）大会愛称・スローガン・シンボルマーク・総合ポスター図案最優秀作品の決定について

令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の「大会愛称・スローガン・シンボルマーク・総合ポスター図案」を、本年度6月から9月にかけて中国5県の中・高校生に募集しました。この度、岡山県で行われた最終選考会で、大会愛称部門において**県立高陽高等学校2年の二井 陽香（にい はるか）**さんの作品が、シンボルマーク部門において**県立海田高等学校1年の柳澤 雄希（やなぎさわ ゆうき）**さんの作品が、**最優秀賞**を受賞しました。

この作品が令和7年度のインターハイに関するあらゆる場面で使用される予定です。

各部門の最優秀賞作品

（1）大会愛称（応募総数 478）

「開け未来の扉 中国総体 2025」

広島県立高陽高等学校 2年 二井 陽香（にい はるか）

作品説明

コロナ禍で先がどうなるかわからない中、高校生が様々な制限の中で培ってきた努力を發揮し、未来を少しでも明るくしたいという思いを込めました。

（2）スローガン（応募総数 556）

「輝け 君の青春 刻め 努力の軌跡」

山口県立萩商工高等学校 3年 阿部 晃子（あべ あきこ）

作品説明

全選手に向けてのメッセージとしての意味。努力は裏切らないという思いです。

（3）シンボルマーク（応募総数 229）



広島県立海田高等学校 1年 柳澤 雄希（やなぎさわ ゆうき）

作品説明

5つで色を変えて中国地方の5県をイメージしその5県が高体連のマークに向かって競っているときの躍動感を表現した。

（4）総合ポスター図案（応募総数 40）



サビエル高等学校（山口県） 3年 面村 あさひ（にしむら あさひ）

作品説明

どのスポーツをする人も本気で取り組みますが、その中でも高校での部活動は特別です。3年間、楽しいことや辛い事がありながら、がむしゃらに練習すると思います。そんな「熱」や「勢い」「激しさ」を表現しました。